

インフラツーリズム推進会議の始動と ワークショップ開催報告

吉川 弘道 フェロー会員 東京都市大学 名誉教授

インフラツーリズム 推進会議の発足

社会インフラは、元来見る者を引きつける要素を具備しており、す

に、社会見学や現場見学、インターンシップ、各種ワークショップなどが全国津々浦々で展開されている。社会インフラを対象としたツアー、イベント、各種企画等の総称であるイ

ンフラツーリズムは、地方創生の一

つの切り札となることが期待されて

いる。このような背景を踏まえ、国

土交通省および東京都市大学の呼び

かけの下、建設会社、建設コンサル

タント、旅行会社などの産官学の有

志により構成される「インフラツー

リズム推進会議」(以下、推進会議)

(議長・筆者)を2017年度に発足

した。

推進会議の取組み内容として、広

報啓発、地域連携、人材育成の3点を

掲げた。なお、2017年度当初の準備

会議を経て推進会議発足に至るま

では、いくつかのWebサイトや

SNSにより社会インフラとインフ

ラツーリズムに関する情報を発信し

ており、主要なものを参考文献として

末尾に付したので参照いただきたい。

ポスター&ワークショップ: 「みんなで楽しもう! イン フラツーリズム」の開催

推進会議のキックオフイベントと

して、2017年11月2日(木)に「ポ

スター&ワークショップ…みんなで

楽しもう! インフラツーリズム—

ダム・橋・トンネルの見方・楽しみ

方」を東京都市大学三子玉川キャン

パスにおいて開催した(後援:国

土交通省、土木学会、JTB関東)。

当日のプログラムは図1に示す通り、

前半のポスターセッションおよび後

半のワークショップの2部構成と

した。

ポスターセッション(写真1)では、

インフラツーリズム推進会議 ポスター&ワークショップ
みんなで楽しもう! インフラツーリズム
-ダム・橋・トンネルの見方・楽しみ方-

12:30~13:30
●ポスターセッション

13:30~17:00
●ワークショップ

13:30~ インフラツーリズム推進会議の発足
●推進会議の発足経緯、取組内容紹介等
議長:東京都市大学 吉川弘道教授

13:50~ インフラツーリズムの取組
●インフラツーリズムの概要報告
●報告1:三國川ダム管理所
●報告2:江戸川河川事務所
●報告3:八ッ場ダム工事事務所
●報告4:北海道開発局開発監理部
●報告5:相模川水系広域ダム管理事務所
●報告6:株式会社JTB関東 営業推進部

14:40~ 大学生観光まちづくりコンテスト2017 事業報告
●事業報告
●聖心女子大学
『道森鉄道〜忘れられた路線が思いをつなぐ〜』
●茨城大学
『きぼうXでいぼうXうまいぼう〜 おかしな難関プロジェクト〜』
●経見学園女子大学
『ダム女子』プロジェクト『ダムを、地域を変えるチカラに実える!! 女子大生が提案する八ッ場ダム日本一のインフラツーリズム開発計画 産官学連携による長野県市町村観光まちづくりプラン「やんぱツアーズ」の挑戦!』

15:40~ パネルディスカッション
コーディネーター:東京都市大学都市工学科教授 吉川弘道
パネリスト:国土交通省総合政策局事業総括調整官 鈴木 学
日本建設業連合会広報部長 永山貴一
フリーライター:土木学会土木情報戦略会議委員 三上美絵
JTB総合研究所マーケティング事業部第四部長 斎藤早太

※ワークショップの時間については予定であり、変更となる場合がございます。

17:00~18:00
●ポスター見学/交流会

図1 当日の掲示ポスターとプログラム

YOSHIKAWA Hiromichi

早稲田大学土木工学科卒。専門は、コンクリート構造、耐震設計、地震リスク。FBページDiscover Dobokuを主宰。土木学会論文賞、吉田賞(論文部門)、等受賞。



建設会社や国土交通省北海道開発局・関東地方整備局・北陸地方整備局から提供されたインフラツアー（現場見学）の実施事例を中心としたパネル、および東京都市大学から提供された「土木構造物入門講座」（東京湾アクアライン、黒部ダムなどの土木構造物の画像パネル）など合計30点を展示し、来場者を出迎えた。

ワークショップ報告記

第2部のワークショップでは、はじめに推進会議議長から、来場者歓迎の挨拶と推進会議発足の経緯が報告された。続いて、「インフラツーリズムの取組」と題して、ポスターセッションにも出展している国土交通省地方

整備局の4事務所、北海道開発局、JTB関東からインフラツアーの実施概要が報告された。



写真1 ポスターセッションの様子

また、「大学生観光まちづくりコンテスト2017」のインフラステージ本戦出場チームのうち優秀作品3組（跡見学園女子大学、茨城大学、聖心女子大学）から、「女子大生が提案するハッ場ダム日本一のインフラツーリズム開発計画」等の作品が披露された（3作品のタイトルは図1を参照）。このコンテスト

は、大学生が地域の観光を通じたまちづくりプランを提案し競い合うもの（主催：同名の運営協議会）である。

最後に、インフラツアーに携わるパネリスト4名により「パネルディスカッション」を行い、「これまでの活動」および「今後の期待と可能性」の2点についての議論と会場との意見交換が行われた。特に、観光・地域づくりに資する施策として、今後はインバウンドも視野に入れた展開が期待される、などの意見が寄せられた。インフラツーリズムの具体事例・計画事例はきわめて多岐にわたるため、本ワークショップの継続による情報共有の場が重要と痛感した。

来場者の声

当日は、約90名の参加があり、建設業界、旅行会社、出版社、写真家、ライターなどに加えて、一般の土木ファンの参加があり、本ワークショップが、インフラツーリズムの「交流の場」、「横糸としての役割」を果たしていることを強く感じた。

また、来場者の生の声とアンケートからは、「ニーズはあるが、粘り強

い取組みと情熱が必要である」、「まだまだ伸びしろがあり、可能性は無限」、「直接見ることが、印象を変える」、「地元と観光の視点にて連携することで活性化につながる」などの意見・感想があり、今後の推進会議の活動に生かしていきたい。

インフラツーリズムの次なる展開へ

今回のポスター＆ワークショップの開催を通して、インフラツーリズムが広く展開されており、インフラの観光資源としてのポテンシャルが徐々に発揮されつつあることを改めて認識した。推進会議では、第2回の開催を予定しており、今後とも、インフラツーリズム関係者の交流の場としての活動と横糸としての役割をさらに推し進めたく、土木学会員からの提案・助言、および市民の方々からの支援をお願いしたい。

参考文献

- (1) インフラツーリズムPortal Site：国土交通省公式HP： <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infatourism/>
- (2) 土木ウォッチング（インフラ大図鑑：土木構造物写真集）： <http://www.doboku-watching.com/>

（担当編集委員：鈴木貴洋）